

年間授業計画 新様式

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：3単位

対象学年組：第3学年1組～6組

教科担当者：（4組：山下 1・2・3・5・6組：吉積）

使用教科書：大橋幸泰ほか『高等学校 日本史探究』（実教出版株式会社、令和4年検定済）

使用副教材：第一学習社編『学習事項の整理と問題 日本史探究ノート』（第一学習社、令和7年）

科目の目標：

【知識及び技能】

現代世界の歴史的特色と日本の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

観点別の評価基準：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	学びに向かう力、人間性等
現代世界の歴史的特色と日本の歴史の展開に関して、正確に理解しているか。 調査や諸資料等を適切に調べ、効果的にまとめる技能が身に付いているか。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、関連性を、多面的・多角的に考察できるか。課題の解決に向けて考察、構想したことを効果的に説明することができるか。考察・構想したことを基に、適切に議論することができるか。	課題を主体的に解決しようとする態度をもって学びに取り組んでいるか。 多面的・多角的な考察や深い理解を養うために、積極的に学習に取り組んでいるか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	・受験日本史Ⅰの学習内容を再確認する。 ・基本的な歴史区分を再確認する。 ・古代から近世までの基礎的な歴史的事象の再確認をする。	ガイダンス 受験日本史Ⅰ既習範囲の確認 年代・時代区分の再確認 歴史学習の基礎	ノート ワークノート 発言	○	○	○	6
	・幕藩体制のしくみと近世社会の身分制度について理解する。 ・鎖国政策による貿易統制とその影響について考察する。 ・幕政改革や藩政改革の具体的内容を理解する。	近世の日本と世界 幕藩体制の確立と展開 幕府の統制と対外関係 幕藩体制の動揺と幕政の改革	ノート ワークノート 発言・課題	○	○	○	4
	・外国船の来航から発展した海防論と幕府の対外政策を理解する。 ・開国が幕末の社会にもたらした影響を理解する。 ・江戸幕府から明治政府への政権交代の経緯を理解する。	近代への転換 欧米列強の接近 開国から討幕へ 討幕運動の展開	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	中間考査		定期考査	○	○	○	1
	・明治政府の特徴と政治方針を江戸時代と比較しながら考察する。 ・明治新政府の近代化改革の具体的内容を理解する。 ・新制度が民衆の生活・文化へ与えた影響を考察する。	近代国家の形成 新政府の樹立 明治維新の新制度 貨幣・金融制度の整備	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	6
	・身分制度の転換が民衆の生活に与えた影響を理解する。 ・富国強兵の理念の下に行われた改革の具体的内容を理解する。 ・歴史文化遺産を具体例に、殖産興業の内容を理解する。	近代産業の発達 四民平等 富国強兵 殖産興業	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	・条約構成交渉の経緯を当時の世界情勢に着目して考察する。 ・国境の画定とそれに伴う諸外国との摩擦を理解する。 ・文明開化が庶民の生活に与えた影響を考察する。	国際関係の推移 岩倉使節団 国境の画定 文明開化	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	・自由民権運動の目的と政府の対応とその結果を理解する。 ・条約構成交渉の経緯を当時の世界情勢に着目して考察する。 ・大日本帝国憲法の内容を理解する。 ・立憲体制について理解する。	議会の政治の展開 民権運動の高揚 大日本帝国憲法の成立 初期議会	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	6
	・日清戦争に至る経緯と戦争の展開を理解する。 ・日清戦争後の内外情勢の変化や三国干渉の背景を理解する。 ・日露戦争に至る経緯と戦争の展開を理解する。	日清・日露戦争 日清戦争 三国干渉 日露戦争	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	6
	期末考査		定期考査	○	○	○	1
	・日露戦争後の世界での日本の地位の変化を考察する。 ・日本の近代産業の発達を理解する。 ・近代文化の特色と、国家主義が文化に与えた影響を考察する。	産業革命と社会の変容 大陸への膨張 繊維工業の発展と重工業の確立 近代文化の形成と展開	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	3

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 桂園時代を理解し、第一次護憲運動の経緯と意義を考察する。 社会問題や労働問題の発生と政府の対応を理解する。 社会主義運動の展開を理解し、その背景を考察する。 	桂園時代 第一次護憲運動 社会運動の開始 社会主義運動の展開	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	3	
	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦前後の国際情勢と日本の対応を理解する。 二十一カ条の要求の内容を理解し、その背景を考察する。 ロシア革命の内容とその影響を考察する。 	第一次世界大戦と日本 第一次世界大戦 日本の大戦参加と二十一カ条の要求 ロシア革命とシベリア出兵	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	6	
	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦が日本にもたらした好景気とその影響を考察する。 都市中間層の成長と政党政治の動向を理解する。 ヴェルサイユ条約とワシントン体制の影響を考察する。 	新たな国際秩序 大戦景気 政党内閣の確立 ヴェルサイユ体制とワシントン体制	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	6	
	<ul style="list-style-type: none"> 関東大震災の概要を理解し、社会的・経済的影響を考察する。 第一次護憲運動と第二次護憲運動の相違を比較しながら理解する。 恐慌の具体的内容を理解し、原因を分析する。 	両大戦間の日本 関東大震災 第二次護憲運動 戦後恐慌から金融恐慌へ	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4	
	<ul style="list-style-type: none"> 日本の大陸政策の転換を社会的・経済的背景から考察する。 恐慌の具体的内容を理解し、その影響を考察する。 都市中間層の成長が文化にもたらしたものを考察する。 	大正・昭和初期のくらしと文化 中国への干渉 昭和恐慌 都市文化とメディアの発達	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4	
	中間考査		定期考査	○	○	○	1	
	<ul style="list-style-type: none"> 満州国建国のねらいやその後の影響を考察する。 軍部の影響力の増大と国際的な孤立の影響を考察する。 第二次世界大戦の推移を日米関係に注目して考察する。 	軍部の台頭 満州事変 政党内閣の崩壊と国際連盟脱退 軍国主義化の進展	ノート ワークノート 発言	○	○	○	6	
	<ul style="list-style-type: none"> 二・二六事件の背景と事件が社会に与えた影響を考察する。 日中戦争に至る過程を理解する。 同盟に至る経緯を理解し、同盟に関する諸外国の思惑を考察する。 	軍国主義化の進展 二・二六事件 日中戦争 日独伊三国同盟	ノート ワークノート 発言	○	○	○	6	
	<ul style="list-style-type: none"> 国家総動員体制に至る経緯を理解する。 日米相互の主張を比較しながら、交渉の経緯を理解する。 戦争の展開と占領下のアジア各地の動向を理解する。 	戦争の長期化 戦時体制の強化 日米交渉 アジア・太平洋戦争	ノート ワークノート 発言・課題	○	○	○	6	
	<ul style="list-style-type: none"> 戦時下の国民生活の変化を歴史的史料や写真を元を理解する。 戦争の展開と沖縄戦の具体的内容を理解する。 敗戦に至るまでの経緯を理解する。 	戦時下のくらし 国民生活の破綻 本土空襲・沖縄戦 敗戦	ノート ワークノート 発言・課題	○	○	○	5	
	期末考査		定期考査	○	○	○	1	
	<ul style="list-style-type: none"> 国際連合の構造を国際連盟と比較しながら理解する。 戦後の政党復活や労働運動の高揚の経緯を理解する。 GHQの改革の方針と民主化が国民にもたらした影響を考察する。 	日本の再建 国際連合の発足 日本の占領 民主化政策	ノート ワークノート 発言	○	○	○	3	
	3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦の経緯と対立構造を理解する。 冷戦の激化が日本の占領政策に及ぼした影響を考察する。 国際社会復帰と安保締結がもたらした課題を理解する。 	日本の再建 冷戦のはじまり 占領政策の転換 独立と日米安保体制の形成	ノート ワークノート 発言・課題	○	○	○	3
		<ul style="list-style-type: none"> 55年体制成立の背景と安保闘争の意義を理解する。 高度経済成長の経緯とそのひずみを理解する。 日本の政治経済状況と世界情勢の動向を考察する。 	経済の発展 55年体制の成立 高度経済成長下の日本 「国際化」する経済大国	ノート ワークノート 発言・課題	○	○	○	3
<ul style="list-style-type: none"> 冷戦の終結の背景とバブル経済出現の経緯を理解する。 55年体制崩壊後の政局を国際的に考察する。 今日の世界と日本の課題を理解する。 		経済大国とグローバル化 貿易摩擦とバブル経済 新たな世紀の日本へ 多文化共生	ノート・ワークノート 発言・課題	○	○	○	2	
学年末考査			定期考査	○	○	○	1	
			合計時数				105	